

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

表層で28℃以上の地点があるほか、全地点全層で27℃以上となっております。

検鏡の結果、魚類に対して有害なケラチウム属が最大1細胞/mL確認されました。また、赤潮原因プランクトンであるアカシオ・サングイネアが最大3細胞/mL確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、魚類に対して有害なシャットネラ属が小筑紫中央で0.05細胞/mL、藻津で0.03細胞/mL、大島中央、栄喜奥および青瀬山で0.01細胞/mL確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ケラチウム 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アカシオ・ サングイネア
A 藻津 (7.8m/37.9m) 【09:28】	0	27.4	33.1	6.6	0	0	1
	★ 5	27.5	33.8	6.1	0	0	0
	10	27.5	33.8	5.8	0	0	1
	15	27.5	33.8	5.6	-	-	-
	20	27.3	33.8	5.3	-	-	-
B 宇須々木 (7m/26.3m) 【09:20】	0	27.3	32.7	6.6	0	0	0
	5	27.5	33.8	6.1	0	0	0
	★ 10	27.5	33.8	6.0	0	0	0
	15	27.5	33.8	6.0	-	-	-
	20	27.2	33.9	5.4	-	-	-
C 大島中央 (17.5m/32.3m) 【09:37】	0	27.5	33.2	6.3	0	0	0
	5	27.7	33.8	6.5	0	0	0
	★ 10	27.6	33.8	6.4	0	0	0
	15	27.6	33.8	6.3	-	-	-
	20	27.4	33.9	5.6	-	-	-
D 小筑紫中央 (15.9m/49.3m) 【09:48】	0	27.7	33.3	6.1	0	0	0
	5	27.7	33.8	6.3	0	0	0
	★ 10	27.7	33.8	6.2	0	0	0
	15	27.6	33.8	5.8	-	-	-
	20	27.5	33.8	5.6	-	-	-
E 真珠 (5.3m/31.8m) 【09:09】	0	27.3	32.3	6.4	0	0	1
	★ 5	27.5	33.7	6.2	0	0	0
	10	27.5	33.8	5.8	0	0	0
	15	27.5	33.8	5.6	-	-	-
	20	27.4	33.8	5.5	-	-	-
F シラハエ (10m/36.6m) 【09:59】	0	28.0	33.7	6.6	0	0	0
	★ 5	27.7	33.8	6.2	0	0	0
	10	27.6	33.8	6.0	0	0	0
	15	27.5	33.8	5.7	-	-	-
	20	27.4	33.8	5.7	-	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ケラチウム 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アカシオ・ サングイネア
G 立石 (8.9m/23.8m) 【10:08】	0	28.1	33.5	6.7	0	0	2
	5	27.7	33.8	6.5	0	0	1
	9	27.7	33.8	6.4	0	0	3
	★ 10	27.7	33.8	6.5	0	0	0
	15	27.6	33.9	6.4	-	-	-
	20	27.6	33.9	6.2	-	-	-
H 一切田 (5.9m/22.3m) 【10:27】	0	28.0	33.0	6.6	0	0	0
	5	27.8	33.8	6.8	0	0	1
	★ 10	27.7	33.9	6.6	1	0	0
	15	27.7	33.9	6.5	-	-	-
I 栄喜奥 (5.9m/14m) 【10:16】	0	28.2	33.3	6.8	0	0	0
	5	27.8	33.8	6.8	1	0	0
	★ 10	27.8	33.8	6.7	0	0	0
	15	27.7	33.9	5.8	-	-	-
J ヒロウラ (4.8m/25.2m) 【10:44】	0	28.0	33.3	6.5	1	0	2
	★ 5	27.7	33.8	6.2	0	0	1
	10	27.5	33.8	5.5	0	0	1
	15	27.5	33.8	5.6	-	-	-
	20	27.4	33.8	5.4	-	-	-
K 青瀬山 (4.3m/16.2m) 【10:24】	0	27.9	33.0	6.6	0	0	1
	5	27.8	33.8	6.8	1	0	0
	10	27.7	33.9	6.6	0	0	0
	★ 11	27.7	33.9	6.6	0	0	0
	15	27.7	33.9	6.6	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

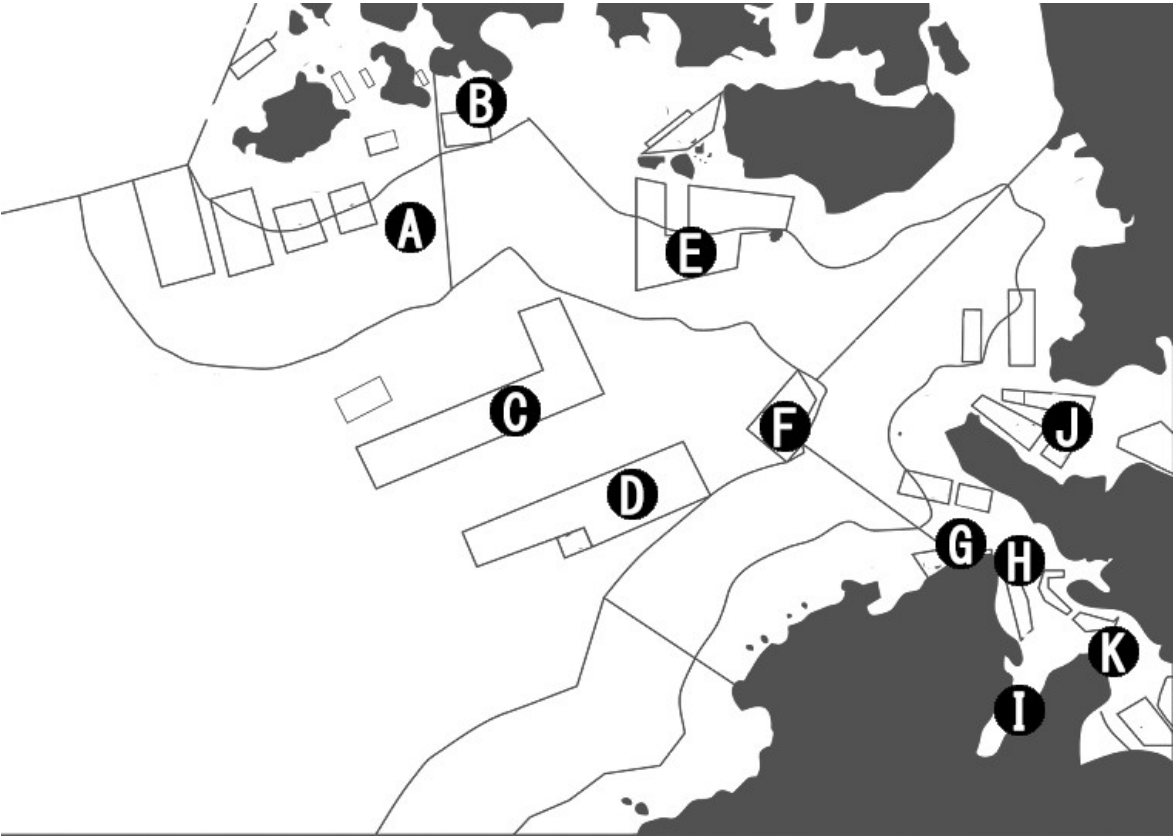
プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp)においてもご覧いただけます。

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
ケラチウム属	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 藻津

B: 宇須々木

C: 大島中央

D: 小筑紫中央
- E: 真珠

F: シラハエ

G: 立石

H: 一切田
- I: 栄喜奥

J: ヒロウラ

K: 青瀬山